

# モン太とつちまるの植物日記

## 「縄文時代の弓の材料」

縄文時代の狩猟道具の一つに弓矢があります。  
その弓は、イヌガヤやニシキギ属(マユミなど)、カバノキ属(ミズメなど)、ムラサキシキブ属(ムラサキシキブやコムラサキなど)の樹木が使われていました。弓に適した弾力のある樹木です。資料館玄関先には、まだ小さいですが、マユミとコムラサキをみることができます。弓を作るには株立ちの方が適していたと思われます。コムラサキは駄菓子のような紫色の果実をつけています。



**コムラサキ** 平成30年9月23日撮影  
コムラサキはムラサキシキブよりも葉が小さく、先半分に鋸歯があることが特徴です。果実は秋に紫色に熟します。



**マユミ** 平成30年9月23日撮影  
名前の通り、マユミ(真弓)は古来から弓の素材とされてきました。秋に赤い果実が見られます。

